

「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出

大王製紙株式会社(住所：東京都千代田区)は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、国民生活や産業活動に必要な『物流の持続的確保』の実現を目指すための「自主行動宣言」をホワイト物流推進運動事務局に提出しました。

1. 「ホワイト物流」推進運動とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保すると共に経済の成長に寄与することを目的にしている運動です。トラック輸送の向上・物流の効率化や女性・60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現を目指しているもので、2019年4月に国土交通省・経済産業省・農林水産省が、上場企業及び各都道府県の主要企業約6,300社に対して参加の呼びかけを開始しています。

2. 自主行動宣言の内容

当社が、自主行動宣言のなかで表明している取り組みは以下の通りです。

| No. | 取組項目 | 取組内容 |
|-----|----------------|--|
| 1) | 物流の改善提案と協力 | 荷役待機時間の解消やトラック運転者の付随作業等の削減について、協力物流事業者と真摯に協議すると共に着荷主に対しても必要な提案を行います。 |
| 2) | パレット等の活用 | 女性や60代以上のトラック運転者も働きやすい物流労働環境となるようパレット輸送を推進し、手積み手降ろし荷役を削減します。 |
| 3) | 集荷先や配送先の集約 | 各生産工場の近隣に大型倉庫を稼働し、集荷場所を集約することでトラック運転者の拘束時間短縮を進めています。更なる集約を進めると共に物流事業者から集荷先や配送先の相談があった場合は、真摯に協議に応じます。 |
| 4) | 船舶や鉄道へのモーダルシフト | 従来、輸送距離500Km以下はトラック輸送、500Km以上は内航船・RORO船とし、現状、当社品輸送の手段別比率は45%が船舶輸送です。今後はトラック運転者の働き方改革に伴い、350Km～500Km圏内についてもトラックから船舶輸送にシフトを進めます。 |
| 5) | 燃料サーチャージの導入 | 船輸送において燃料サーチャージを導入しており、今後も継続します。 |
| 6) | 保育所の設置 | 企業主導型保育事業を活用した事業所内保育所「GOON. すくすくはうす」を2018年4月より開所しています。今後も子育て世代のトラック運転者も働きやすい環境作りに寄与します。 |

3. 当社グループのこれまでの取組み

- 1) 2015年4月 船輸送における燃料サーチャージ制導入
- 2) 2017年9月 当社・大王海運・ダイオーロジスティクスの3者協働によるRORO船を活用したモーダルシフトで物流総合効率化法の認定
- 3) 2018年4月 事業所内保育所「GOON. すくすくはうす」を開所
- 4) 2018年4～7月 工場近隣に大型倉庫4棟を稼働
- 5) 2018年10月 他社(王子ネピア・日本製紙クレシア・カミ商事)とレンタルパレット会社(upr)の5社で『家庭紙パレット共同利用研究会』を立上げ、家庭紙専用パレットを開発し、共同利用・共同回収のスキームを構築して家庭紙衛生用紙のパレット輸送を開始

《手荷役からパレット輸送へ》



《大型倉庫》



《GOON. すくすくはうす》



女性や60代以上のトラック運転者等が働きやすい物流環境作りのため、保育所の開所、パレット輸送による手積み・手降ろしの削減、トラック運転者の拘束時間短縮に寄与する集荷場所の集約、モーダルシフト等を進めてまいりました。今後も物流事業者と真摯に向き合い、『物流事業者に選ばれる荷主』を目指します。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

大王製紙株式会社 グローバルロジスティクス本部
荒瀬(アラセ) 添田(ソエダ)
TEL : 03-6856-7526